



“つながるひろがる”環境情報メディア

環境展望台

甲第284号証

[› アンケート](#) [› FAQ](#) [› ご利用ガイド](#) [› お問い合わせ](#)

[スマートフォン用ニュースページはこちら](#)

MENU

[TOP](#) [TOP](#) [TOP](#) [TOP](#) [TOP](#) [TOP](#) [TOP](#)
[ホーム](#) > [ニュース・イベント](#) > [海外ニュース](#) > [記事詳細](#)

海外ニュース

イギリス気象庁、温暖化により干ばつが増加すると予測

発表日：2010.05.26

イギリス気象庁は、気候変動の影響によって、極端な干ばつの発生頻度が今後増加する可能性が高いとの研究成果を発表した。この研究は、2100年までの間にイギリスでどれほどの頻度で干ばつが起こるかについて、気候モデルでシミュレーションを行ったもの。史上最大規模の干ばつを記録した1976年を基準として、11通りのモデルで計算した結果、大半は1976年型の干ばつが増加することを示したという。将来の干ばつ発生の可能性を評価することは、気候変動の適応策を立案する上で不可欠であり、そのためにこのシミュレーションは重要なステップとなる。現段階では、各シナリオの確率は出しておらず、同等の可能性があるものと仮定されているが、今後の研究では、それぞれの結果がどの程度起こりやすいかを評価し、干ばつに対する適応策を立案し、実施していくための手掛けりとなることが期待されるという。

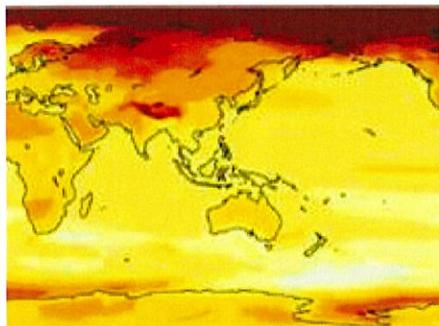
情報源	イギリス気象庁（MET） プレスリリース
国・地域	イギリス
機関	イギリス気象庁（MET）
分野	地球環境
キーワード	地球温暖化 シミュレーション 気候モデル 干ばつ イギリス気象庁 適応策 シナリオ
関連ニュー	<input checked="" type="checkbox"/> イギリス気象庁、極端な気象現象に対する地球温暖化の影響に関する研究を紹

ス

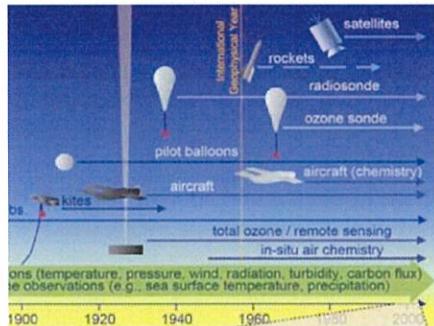
介

- 国立科学財団、地球の大気には予想以上に多くの砂塵が含まれると報告
- イギリス気象庁、今世紀の太陽活動の低下は地球温暖化を緩和せずとの研究結果を発表
- 北極の海氷融解が今後数十年休止する可能性をアメリカ科学者らが報告
- イギリス気象庁、地球温暖化の脅威は続くと警鐘
- 欧州環境庁、気候変動対策としての土壤管理の潜在力を報告
- アメリカ環境保護庁と日本の環境省、二国間環境協力の継続に関する共同声明を発表
- イギリス気象庁、観測史上最も暑い夏を報告
- 世界気象機関、パキスタンの洪水被害状況と同機関の取り組みについて解説
- デンマークとドイツ、バルト海上の画期的なエネルギープロジェクトに合意

関連する環境技術



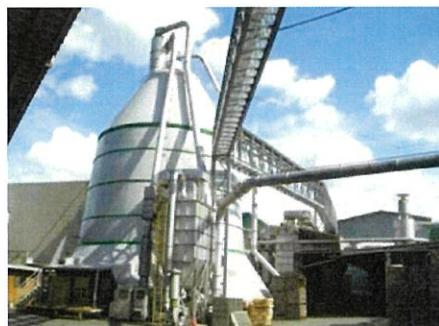
気候変動予測技術



地球観測技術



風力発電



バイオマス発電



太陽光発電

ニュース・イベント

- 国内ニュース
- 海外ニュース
- イベント情報

環境GIS

- [速報・予測](#)
- [環境の状況](#)
- [環境指標・統計](#)
- [環境規制・指定](#)

研究・技術

- [環境技術解説](#)
- [環境技術情報ナビ](#)
- [大気汚染常時監視データ](#)
- [環境データベース](#)
- [国・独立行政法人](#)
- [地方環境研究所](#)
- [環境研究技術サポート](#)
- [分析マニュアル](#)
- [環境省](#)
- [日本産業規格](#)

政策・法令

- [環境法令ガイド](#)
- [環境政策法令ナビ](#)

環境学習

- [大学研究室紹介](#)
- [実践レポート](#)
- [探求ノート](#)
- [環境トピックス](#)

検索・ナビ

- [環境展望台について](#)
- [パンフレット](#)
- [アンケート](#)
- [FAQ](#)
- [ご利用ガイド](#)
- [お問い合わせ](#)
- [著作権・リンク](#)
- [プライバシーポリシー](#)



このサイトは国立研究開発法人 国立環境研究所が運営・管理しています。

© National Institute for Environmental Studies.